



椿寿

シルバー 寒河江

第70号

発行 公益社団法人
寒河江市シルバー人材センター
寒河江市中央2丁目2番1号
電話 83-3224
FAX 83-3203



寒河江川の桜並木

正月も過ぎ、今頃になると日に日に桜の咲く春が待ち遠しくなります。市内には桜の名所がいくつありますが、寒河江川沿いの桜並木は延長2.8kmからなる名所です。今年も満開の桜を眺めることを楽しみに、日々の体調管理に注意して過ごしたいものです。

令和3年度の安全就業推進標語決定

最優秀	安全は 急がず あせらず 基本が第一	五十嵐 誠
優秀	密を避け 密にやろうよ ミーティング	荒木 敏昭
優秀	思い出せ ヒヤリハットの あの危険	安孫子 修
優秀	帰り道 まだ仕事中 気をつけて	佐藤 純子

新年のごあいさつ

理事長 鹿間 康



新年あけましておめでとうございます。皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年は新型コロナウイルスにより多大な影響を受けた年でありました。健康保持のためにも、基本的なコロナウイルス予防対策を続けてまいりたいと思っております。

さて、昨年の状況から懸念されている一つに、シルバー会員とのコミュニケーションが少なくなったことです。会員と共に会話し、仕事し、時には一同に会しての新年会や総会など大事な事業が中止または規模を縮小しての開催を余儀なくされました。

会員とのコミュニケーションを図るため毎月会員向けに「安全就業ニュース」を発刊したり、年一回本誌会報の発刊したり、他にホームページによりシルバー人材センターの活動を紹介していますが、これらの媒体は一方通行であります。今年はできるだけ多くの会員と、そして市民の皆様と直接お話しする機会を多くもちたいと思っているところです。

本誌「シルバー寒河江」は今回で第70号を発刊するという節目の年となりました。創刊されたのは寒河江市高齢者事業団が創設されて5周年を迎えた昭和63年8月5日です。その後、当会は平成元年7月には社団法人となり、平成24年4月には現在の「公益社団法人」となりました。

これまでの「シルバー寒河江」を見ますと、幾多の困難を克服しながら今日に至っております。

会報は会員向けと同時に支援をいただいている市民の皆様向けに発刊してまいりました。

シルバーを取り巻く環境は日々変化し厳しいものがありますが今まで同様、会報を通して、会員及び市民の皆様にご理解とご支援をお願い申しあげます。

会報表紙左上の「椿寿」は荘子の書物からとったもので、長寿を意味するものです。

結びに、市民皆様のご多幸とご健勝を心よりご祈念申しあげ、新年のご挨拶いたします。

監	監	理	理	理	理	理	理	副	理	
事	事	事	事	事	事	事	事	理	事	長
鹿	木	渡	渡	清	菅	大	稻	安	荒	佐
間	村	邊	辺	水	野	沼	村	孫	木	藤
文	隆	正	彰	博	一	富	清	忠	犬	鹿
藏			男	之		子	秀	一	飼	間
								好	敏	勝
									昭	良
										康

謹賀新年
本年もよろしく
お願いいたします



新年のごあいさつ

寒河江市長 佐藤洋樹



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

貴センターには、高齢者の就業やボランティア活動を通じて、社会参加の促進と、生きがいや活力ある地域社会づくりに多大なるご貢献をいただきしております、心より感謝を申しあげます。

さて、人生百年時代を迎え、働く意欲のある高齢者が生涯現役として豊かな経験や技能を発揮できるよう、活躍の場をこれまで以上に確保していく必要があることから、就業機会の拡大に更に積極的に取り組まれ、会員の希望や多様化する地域のニーズにあった事業を展開されることと期待しております。

また、新型コロナウイルス感染症により様々な活動が制約され、先行きが見通せない状況が続いていることから、引き続き本市では、生活の維持や事業者の事業継続の支援となるよう全力で取り組むとともに、高齢者になっても住み慣れた地域のなかで、健康で安心して生きがいを持って暮らせる地域社会の実現に向けて、市民の皆様と連携を深め、協働しながら様々な施策を実施してまいりますので、引き続きのお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

結びに、貴センターのますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

寒河江市議会議長 國井輝明



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

貴センターにおかれましては、日頃より高齢者の就業やボランティア活動を通じて、生きがいや地域社会づくりにご貢献をいただきおりますことに、心から感謝申しあげます。

昨年は、東京オリンピックが開催され日本は金メダル27個を含む58個のメダルを獲得するなど、明るい話題がありました。しかし、未だ持つて新型コロナウイルスの影響もあることから、皆様におかれましても、新しい生活様式を実践し、感染防止にご協力頂きますよう、お願い申しあげます。

さて、急速に進展する高齢社会のなかで、貴センターの役割はますます重要になっております。活力ある地域社会を形成するために、高齢者の皆様が働く意欲を持って地域で活躍されることが不可欠であります。そのためにも、貴センターが核となって高齢者の皆様の生活を支えていくことが強く求められてまいります。議会としても、高齢者になっても健康で安心して生活できる環境づくりのため議論を深めてまいる所存です。

結びに、貴センターのますますのご発展と会員の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申しあげご挨拶といたします。

会員の広場

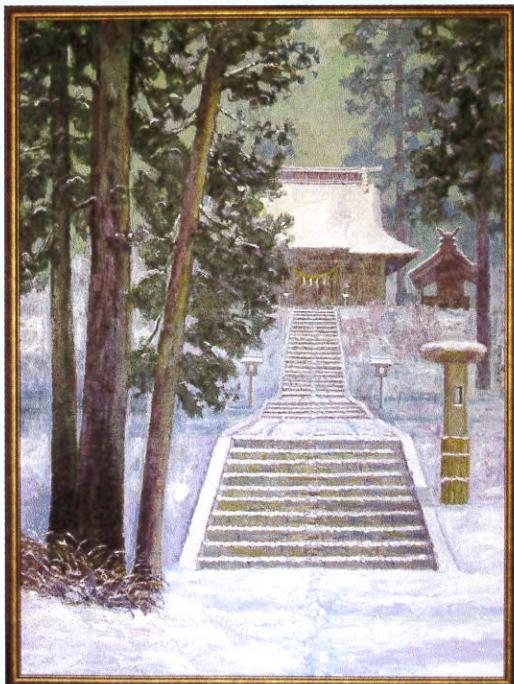
絵と向き合って

大 谷 健 吾 (柴橋地区)

絵を描き始めて早や30数年、未だに自分の思うような絵が描けず試行錯誤の毎日です。写実的な描き方しか出来ない自分に、自信を持って皆さんに希望と感動を与えられたらと思い今日も筆をとっています。

少しずつ、ゆっくり描き込み、離れては眺め、色彩と構図との調和、妥協の連続です。まだ未熟な私ですが、皆様のご指導を受けながら描き続けたいと思います。

第76回(令和3年)県美展入選作品(洋画、日本画、彫刻)



洋画「熊建山の冬晴れ」



日本画「雪解け」



彫刻「ほほえみ」



制作中の大谷さん

◆門松贈呈

12月10日 会員6名で丹精込めて作った門松を市役所、ハートフルセンター、フローラSAGAEに贈呈しました。



一年の活動を振り返って

シルバー人材センターでは、就業機会の拡大と会員のスキルアップ、後継者育成のための講習会の開催やボランティア、互助会活動を行っています。



果樹摘果講習会 5月12日



さくらんぼ詰め方講習会 6月7日



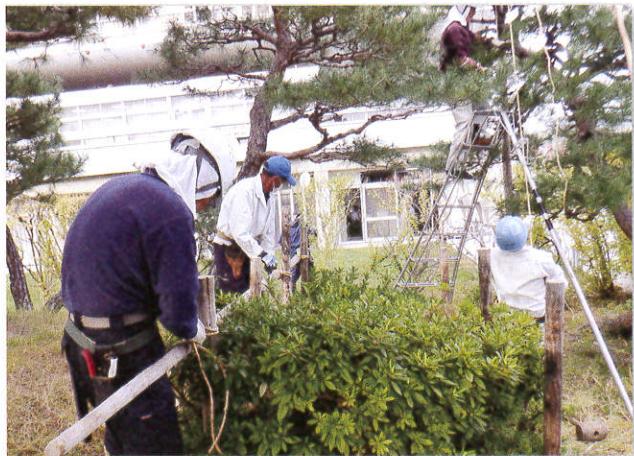
刈払機講習会 7月30日



りんご葉つみ講習会 9月11日



障子はり講習会 10月22日



雪囲い講習会 10月26日

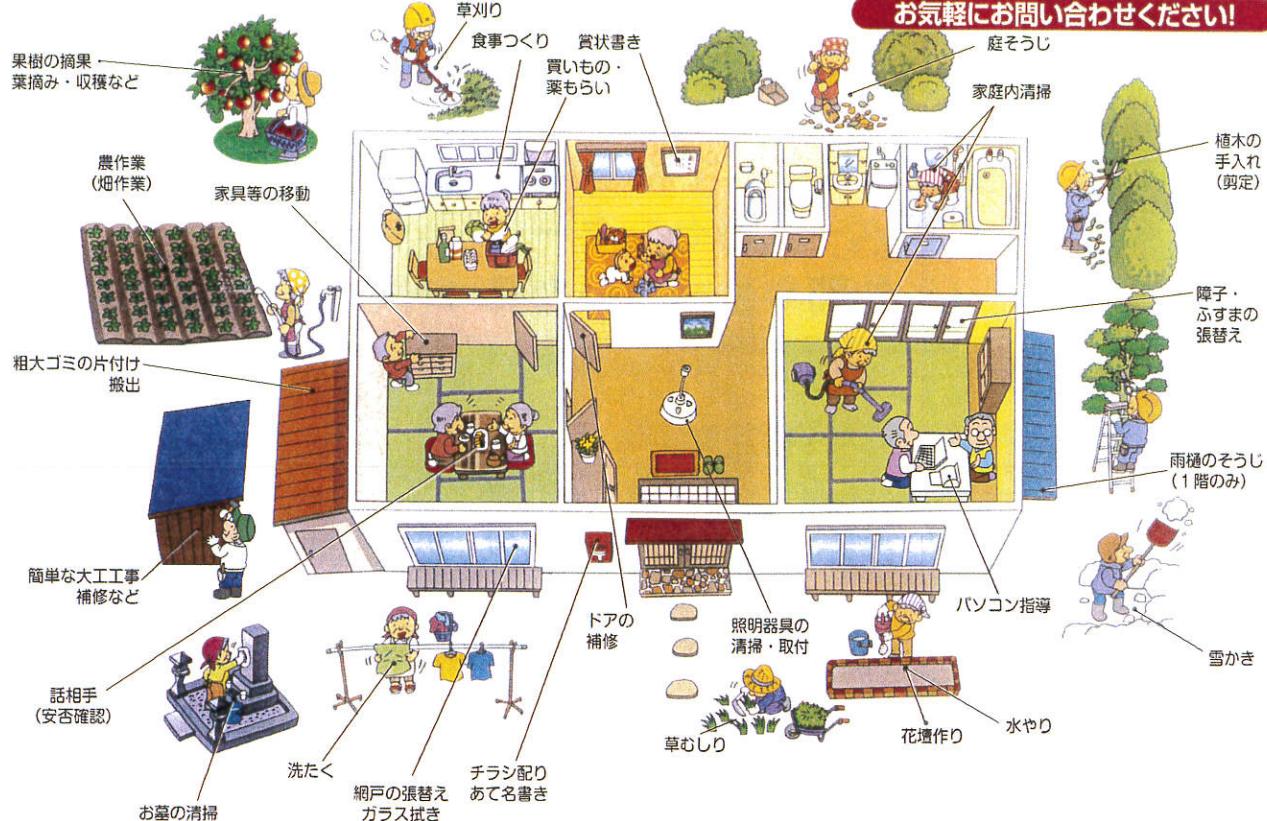


安全就業巡回 7月16日

ほのぼのサロン 手作り品
社会福祉協議会へ贈呈 12月9日椿寿会 庄内歴史自然探訪 10月11日 庄内方面
新型コロナウイルス感染拡大防止に気を配っての2年ぶりの日帰り旅行でした。

ご家庭の様々なお仕事をお引き受けいたします

お気軽にお問い合わせください!



空き家(空き地)管理、お墓掃除をサポートします!

空き家(空き地)管理サポート

建物の外側から現状確認を行います。(目視点検)

- 建物確認 外壁、外窓ガラス、雨樋破損の状況等
 - 敷地確認 庭木、草の繁茂、不法投棄の状況等
 - その他 郵便物の確認、玄関前の簡易清掃
- ※ 建物・敷地内の現状を確認し、報告書を作成し、現状写真を送付します。
- ※ 「目視点検」の他に「巡回」などもございます。

お墓掃除サポート

お客様に代わりお墓の掃除を行います。

- 作業前に、お参り、写真撮影
 - お墓周り、墓石の掃除
 - 掃除終了後に、お参り、写真撮影
- 後日写真を送付します



あなたの技術と経験を生かしてみませんか

60歳
以上の方

会員募集中



生涯現役として私たちと一緒に働きませんか！
シルバー人材センターで
仲間や生きがいを見つけませんか！

会員になるためには

- ➡ 原則 60 歳以上の方
- ➡ 健康で働く意欲のある方
- ➡ 寒河江市内にお住まいの方
- ➡ 入会説明を受け申し込みました方



入会説明会

日時：令和4年2月16日(水)午後1時30分～
3月 9日(水)午後1時30分～
4月 20日(火)午後1時30分～

※毎月、第2火曜日午後1時30分～を予定しています。

場所：ハートフルセンター会議室

※日時が変更になる場合があります。事務局までお電話ください。



入会を希望される方は事務局までお電話ください！

公益社団法人寒河江市シルバー人材センター

☎ 83-3224

午前8時30分～午後5時15分（土日祝祭日を除く）

編集後記

「月刊シルバー」冊子の、人生100年時代の高齢者コーナーのインタビューで、喜劇役者 伊東四郎さんの言葉「働き続けることは薬、仕事をできる自分を日々保つ」とありました。たしかにその通りです。薬をもらうにはお金を払わなければなりません。シルバー人材センターでの仕事は、自分にとって健康を保ちつつ、収入も得られる良い薬となっています。みなさんもシルバーに入会し、一緒に働いてみませんか。（菅野）

編集委員

菅野清一 / 稲村清秀 / 大沼富子